

*ミニミニ星座早見盤のついたキーホルダーを収蔵

アーカイブ室新聞 555号に「造幣局製造の日曜表メダル9枚を収蔵」という記事を書いた。これは「談天の会」の大御所的存在である佐藤明達氏から、氏の収蔵品が国立天文台図書室に寄贈されたもので、図書室で受け入れるには適さないものをアーカイブ室で引き受けた中であつたものである。今回のキーホルダー(写真1)もその一つである。



写真1 ミニ星座早見盤のついたキーホルダー

このキーホルダーは氏の勤めておられた大阪市立電気科学館のプラネタリウムで売られていたのではないかと思われる。星座早見の裏側はさそり座の星座の絵(写真2)になっているから、黄道12星座の12種類が販売されていたのだろう。いかにミニミニ星座早見盤といっても星座早見として使うにはそれなりの大きさが必要である。直径を測ってみると50mmである。ポケットに入れて持ち歩くには少々大きい天文マニアは持っていたいと思うものであろう。



写真2 星座早見盤の裏側の星座の絵

このキーホルダーは星座早見盤として使うというよりは、自分の誕生星座のキーホルダーとして持ち歩く人の方が多いのかもしれない。

これらアーカイブ室新聞の記事にお気づきのことがあれば、編集者中桐にご連絡いただければ幸いです。中桐のメールアドレスは、arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp